



# 都賀の台小学校だより

千葉市立都賀の台小学校

10月号 No. 11

令和7年 9月30日

## 短所を愛する 短所で愛される

校長 清水俊也

短所は「直す」ものではなく「愛される」もの。最近読み直した本にこのようなインパクトのある言葉がありました。また、どこか共感する自分もいました。

小学校時代によく、通学途中に忘れ物に気づき、焦って家に戻っていました。「〇〇わすれた～！」玄関のドア開けたとき母親は、なぜかあきれた「笑顔」でした。当時は、その意味がわかりませんでしたが、今ならわかります。

大事な人に短所を愛してもらえるから自分でも短所を意識できる。自己肯定感の源は、「できることを認めてもらう」といったことも大切ですが、短所をなんだかんだと笑ってくれる関係性の中にあると書いてありました。

長所を伸ばして「短所」を悪しきものとしてとらえるのではなく、ダメな部分も含めて深いところから自分（相手）を肯定することを大切にしていきたいです。

自分（相手）の短所をあげて、愛でつつみ、あきれながら愛するほうが上機嫌で過ごせます。

なかなか「短所」を治すことは、難しいですが、うまく「短所」と付き合っていくことが大切なかもしれません。

「しんけん ちえ ちゅうとはんぱ くち かげん い わけ真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言い訳ばかり」

恩師がよく言っていた言葉です。10月になります。過ごしやすい季節です。チャレンジ（挑戦する=失敗していいんだよ）するチャンスです。真剣に取り組むときっと良いことがあります。

## ～10月の目標～ 落ち着いて、学習・読書をしよう

### 《10月の主な行事予定》

- 1日(水) 2年校外学習（葛西臨海水族園）  
2日(木) クラブ  
8日(水) 給食終了 短縮  
9日(木) 前期終業式 短縮  
10日(金) 秋季休業～（10/14まで）  
13日(月) スポーツの日  
15日(水) 後期始業式 短縮  
16日(木) 給食開始  
17日(金) ふれあい全校遠足  
21日(火) 短縮 特別日課  
24日(金) ふれあい全校遠足予備日  
28日(火) 1年校外学習（キッズダム）  
29日(水) 歯科検診（抽出児）  
30日(木) 委員会  
31日(金) 陸上大会壮行会



予定されている学校行事に変更が生じることもあります。

### 《11月の主な行事予定》

- 3日(月) 文化の日  
5日(水) 特別日課  
6日(木) 小学校陸上大会  
7日(金) 就学時検診 特別日課  
12日(月) ふれあい活動  
15日(土) 学習参観&  
17日(月) 振替休業  
18日(火) 短縮日課  
19日(水) 芸術鑑賞会  
20日(木) 委員会  
21日(金) 3年校外学習（千葉港他）  
23日(日) 勤労感謝の日  
24日(月) 振替休日  
25日(火) 子供を知ろう週間～12/5  
26日(水) 6年校外学習（国会・浅草）  
27日(木) 特別日課 クラブ（3年見学）



### 学校閉庁日

本校では、秋季休業中の10月10日（水）を学校閉庁日としております。秋休みではありますが、校舎に学校の職員が不在となりますのでご了承ください。

### 給食費・学校徴収金の口座振替

10月27日(月)は、給食費等の第4期振替日です。残高の確認をお願いします。引き落としができない場合は、11月17日(月)に再振替を行います。  
(学校給食費に係るお問い合わせ

市保健体育課 電話 245-5909)

### スクールカウンセラー来校日

10月半ばからは後期がスタートします。子供たちは気持ちを新たに頑張ろうとしているところかと思います。もし、お子さんの様子に心配な様子や不安を感じることがございましたら、遠慮なくご相談ください。ご予約は、教頭または担任までご連絡ください。

～10月のスクールカウンセラーの勤務日～

- 【午前 9:15～】 10/8 10/22  
【午後 14:00～】 10/1 10/15  
10/29

### 校内科学作品展について

9月8日(月)から12日(金)の放課後、児童が夏休みに取り組んだ科学工夫作品や科学論文理科室と図工室に展示し、保護者の皆様に自由に見ていただく機会を設けました。しかしながら、作品展終了後に児童が自分の作品を確認すると、多数壊れている作品が発見されました。事前の手紙と会場の掲示等で「科学工夫作品には触れないでください。」とお願いをしておりましたが、見学の際に作品に触れてしまったようです。中には、外してあった電池を入れて動きを試した様子も見られました。(電池が入りっぱなしの作品はショートしてしまい、壊れてしまいました。)壊れてしまった作品を持ち帰ることとなった児童の気持ちを考えると大変悲しく残念でなりません。次年度からは、このような悲しいことが起らないように作品展の実施の仕方等について再度検討してまいります。

